



さきやまぶ

2021年11月1日現在

世帯数	: 5,403戸
男	: 5,749人
女	: 6,112人
計	: 11,861人

着々と進む新公民館建設!

今年5月の着工以来、里山辺公民館の工事が順調に進んでいます。

担当課によると、10月末時点の建築進捗率は約60%。外部足場に覆われているため建物の全体は見えませんが、コンクリートの型枠が外れ、およその大きさがわかるようになりました。

取材当日は、晴天のもと、職人さんたちが汗を流しながらサッシ工事を進めていました。現場内には、建設資材が整然と並べられていて、各所にアルコール消毒液が置かれ、換気や手洗い場も整い、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策がしっかりととられています。



1階内部の様子



外部の様子

事が進めば、12月末頃には外部足場が外れ、建物全体が見えるようになると思います。」と説明してくださいました。

11月中旬以降、駐車場やフェンス等の外構工事も徐々に始まり、来年春の竣工に向けて、里山辺公民館の建設はいよいよ後半に入ります。

新しい里山辺公民館は、鉄筋コンクリート2階建て、延べ床面積は1,107.37㎡で、公民館の他に地域づくりセンター、福祉ひろばを集約して整備されます。新たな地域の拠点施設の完成まで、あと4か月余りです。

地元で再発見! 秋の山城ウォーク

わが町紹介

● 薄町 ● 薄町のお船

「薄町のお船」の大修理が始まるに当たり、お船の詳しい解説を書いた冊子が無く、今回この機会に、写真集と解説書を兼ねた記念誌を作成する事になった。

写真、彫刻の資料の収集、そして解体作業で新たな発見が多数あった。①幣束(はたかた)の墨書き。②本体の横の底裏の摩訶不思議な模

様。③車輪裏に刻まれている車輪交換時の説明書き。④本体の横の円龍紋金具の龍に性別がある事。⑤唐獅子、龍の彫刻の眼に金物の有無がある事。⑥花鳥の固有名詞が全て分かった事。など。①はお船建造時前の年号が有り貴重な資料といえる。④は鬣(たてがみ)の有無で牡牝の性別が判明。⑤は金物の有無で新旧が分かる。

今回の、記念誌作成作業で新たな発見があり、今まで謎だった物が解明されたり、余

いることから、平成29年〜31年にかけて、国の史跡として指定されました。

この両方の山城を一緒に歩く機会は今中々無いという方が多く、約5時間30分の道のりを歩きました。

コースは金華橋登り口から大高崎集落を通り、廣澤寺側登り口へ降りるルートです。

大城への登り始めは急な坂が続きますが、西の山々が見渡せるビューポイントがカ所あり一息つくには最適の場所です。そこからは山城特有の敵の進入を防ぐ「堀切」や、敵をジグザグに進ませる「平場群」、僅かに

計分からなくなったりと色々な経験ができ、記念誌が完成した。

記念誌編集部長 篠田 秀美



鬣がないので牝 鬣があるので牡
実際の円龍紋金具

残っている「石積み」などが見られ、最も上の「主郭」に着くまでにいくつも見所があります。

小城も同様に堀切や平場などがありますが、大城よりも保存状態の良い「主郭の石積み」があり、参加者の皆さんも驚いていました。

今回は地元で山城の説明が、講師の説明を聞きながら歩く事で、新たな発見があった講座となりました。



大城副郭手前での説明の様子

藤井町会白山神社鳥居完成

白山神社は、藤井町会北方向の国有林の山裾に村の安寧と五穀豊穡を願い、守護神として元禄8(1695)年に創建されました。このたび鳥居再建にあたり解体した鳥居の柱と笠木を繋ぐ差し込み部分に宝暦13年癸未年との揮毫がありました。今から258年遡り江戸時代中期になります。神社の創建から鳥居の建立まで68年の空白期間がありますが、神社のシンボルといわれる鳥居がその間、存在しないというのは考えにくく、当時の鳥居が朽ちて建て替えたと考えられます。そんなに早く朽ちるかと思いますが、長野県護国神社の大きな鳥居が74年で倒壊していますから不思議ではありません。最近では鳥居全体の老朽化が進み、例大祭で大勢の人が集まった折に「倒壊したら大事故につながるが、危惧されていました。」と危惧されていました。

併せて再建することを決めました。コロナ禍の中で不安が付きまといがちなの頃ですが、町会皆さんの連帯感の強さと協働の精神による寄付金提供のご協力をいただき立派に完成しました。かつて子供の遊び場として利用されていた白山神社境内を、今後は安心・安全の遊び場として、憩いの広場として皆さんに大いに利用していただきたいと思えます。

陽だまり(優しく暖かく、明るく、皆が集まってくる)広場として、何時何時迄も皆に愛される白山神社であり続けるように願っています。そのことが守護神から皆さんに様々なご利益を授かるものと信じています。

白山神社鳥居再建事業
委員長 二木 義照
実行委員会

そこで、藤井町会では鳥居再建事業実行委員会を立ち上げ協議の結果、本年九月の例大祭までに本鳥居と共に境内にある「山の神鳥居」と燈籠も



完成した新しい鳥居



美味しく出来たよ！ わいわいカレー事業

今年度も4月にスタートした「わいわいカレー事業」。新型コロナウイルスにより、企画の中止が相次ぐ中、参加者が植えた作物を収穫し、最後は各家庭でオリジナルカレーを作りました！



思い出が詰まったカレーが出来たよ！

館報さとやまへ平成版 予約受付中！

懐かしい出来事や写真が詰った、「館報さとやまへ平成版」の発行が決定しました。販売は令和3年12月頃を予定し、一冊2,000円での販売となります。お求めの方は里山辺公民館までご連絡ください。(TEL 3271077)



市民体育大会秋季大会 市長杯争奪球技大会

2年ぶりの開催！

マレットゴルフ



男子 17位
女子 4位

市民体育大会秋季大会

ゲートボール



男子 予選敗退
女子 準優勝

軟式野球



1回戦敗退
Aブロック 第3位

第64回松本市市民体育大会秋季大会と第38回松本市長杯争奪球技大会がそれぞれ10月10日(日)と10月31日(日)に2年ぶりに開催されました。新型コロナウイルスによって練習も制限され出場チームも例年より少なくなる中、里山辺地区では軟式野球、ゲートボール、マレットゴルフの選手の皆さんが出場しました。両大会では開会式を行わず、総合得点・総合順位を無くし、競技別順位のみとなりました。そんな中でも、皆さん熱戦を繰り広げていました。

市長杯争奪球技大会



ゲートボール 予選敗退



軟式野球 第3位



マレットゴルフ 14位